

# 国本地区

## I 協議体の概要

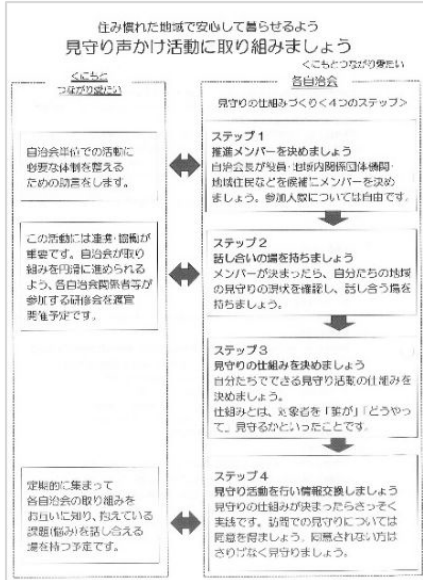
名 称	くにもとつながり愛たい		
設置年月日	平成31年1月10日	開催頻度	1回/年
構成団体 (◎: 事務局)			
<input type="radio"/> 自治会連合会	<input type="radio"/> まちづくり協議会	<input type="radio"/> 民生委員児童委員協議会	<input type="radio"/> 地区社会福祉協議会
<input type="radio"/> 老人クラブ連合会	<input type="radio"/> 福祉協力員連絡会	<input type="radio"/> 健康づくり推進委員会	<input type="radio"/> 第2層生活支援コーディネーター
<input type="radio"/> 市社会福祉協議会	◎ 地域包括支援センター	その他 ( )	
設置方式			
<input type="radio"/> 新規設置	<input type="radio"/> 既存会議活用 ( )		<input type="radio"/> 地域ケア会議活用
設置要綱・会則等の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
設置までの経緯			
時 期	内 容		
平成29年11月	地域ケア会議 (メンバー: 単位自治会, 地区社協, 民児協, 長寿会, 包括等) → 地域包括ケアシステムの概要について共通理解を図った。		
平成30年 2月	地域ケア会議 (メンバー: 自治会連合会, 民児協, 地区社協, 長寿会, 婦人防火クラブ, 食生活改善推進団体連絡協議会, 包括等) → 地域包括ケアシステム, 第2層協議体について理解を深め, 協議体立ち上げについて意見交換を行った。		
6月	地域ケア会議 (メンバー: 単位自治会, 民児協, 地区社協, 長寿会, 婦人防火クラブ, 健康づくり推進協議会, 食生活改善推進団体連絡協議会, 包括等) → 第2層協議体に係る勉強会の開催について検討を行った。		
10月	勉強会① (参加者: 地区社協, 民児協, 長寿会, 国本地区づくり振興会福祉部会, 包括) → 地域包括ケアシステム, 第2層協議体について理解を深め, 協議体の設置に向けた検討を行った。		
平成31年 1月	勉強会② (参加者: 地区社協, 民児協, 長寿会, 国本地区づくり振興会福祉部会, 福祉協力員, 民生委員, 包括) → 第2層協議体設置について合意形成を図った。		
〃	第2層協議体設置		
協議体における検討内容 (協議体で取り組んできたこと, 議論してきたこと)			
地域情報の共有, 課題やニーズの把握について	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民アンケートの実施検討</li> </ul>		
支え合い活動について (見守り活動, 居場所づくり, 生活支援ボランティア等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見守り声かけ活動 仕組みづくりマニュアル」の作成</li> <li>マニュアル作成に向けたプロジェクトチームの設置</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2層協議体の周知チラシの作成・回覧</li> </ul>		

## II 取組事例

### 【「見守り声かけ活動仕組みづくりマニュアル」の作成】

内容： 地域における見守り活動を充実するため、活動の流れや留意点、第2層協議体と自治会の役割分担などについてまとめた「見守り声かけ活動仕組みづくりマニュアル」を協議体に設置したプロジェクトチームで作成中

#### 【マニュアルのイメージ】



協議体と自治会の役割分担について、以下のステップごとに整理を行う。

- ① メンバーの選定
- ② 話し合う場の設定
- ③ 見守りの仕組みづくり
- ④ 活動と情報交換

#### 効果（検討中の場合は、期待する効果）

- ・ 自治会と連携した、地域ぐるみの見守り活動の展開

#

### 【回覧チラシの作成・配布】#



協議体の目的や活動内容（見守り声掛け活動）等を記載した、自治会回覧チラシの作成・配布

## III 協議体を設置して、良かったこと

- ・ 自治会をはじめ、地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会等の地域団体間で情報共有、高齢福祉に係る議論を行う場ができた。

## IV 今後の方向性

- ・ 見守り活動の具体化に向けた、「見守り声掛け活動仕組みづくりマニュアル」の作成、自治会への説明、協力依頼
- ・ アンケート調査や地域ケア会議との連携による課題の把握を行いながら、支え合い活動の創出に向けた検討を進める。